



双方向型無線ICタグシステムに PDAタイプトランシーバを開発

-80メートルの広範囲通信で、倉庫での探し出し・ピッキングを支援-

平成20年4月16日

東京特殊電線株式会社

本社:東京都新宿区大久保1-3-21

社長:小泉伸太郎

東証1部 コード番号5807

東京特殊電線株式会社(本社:東京都新宿区、社長:小泉伸太郎)は、上田日本無線株式会社(本社:長野県上田市、社長:波多野勝彦)と共同で、「アクティブ型無線 IC タグシステム MEGRAS(メグラス)双方向通信」を使用した在庫管理システムに、特定小電力無線を採用して広範囲の通信が可能なPDAタイプのトランシーバを開発しました。

【要点】

- 1) アクティブ型無線タグシステム「MEGRAS(メグラス)双方向通信」に、移動利用できるPDAタイプトランシーバを開発し、SIの開発環境を容易にすることにより物の探し出しやピッキング作業に最適なソリューションを提供。
- 2) PDAタイプトランシーバは特定小電力無線を採用し広範囲の通信が可能(従来は半径約10メートルの通信可能範囲が約80メートルに拡大)。
- 3) PDAタイプトランシーバは無線LANでサーバ側とリアルタイムに通信が可能。
- 4) タグは3色のLED点灯とブザー音でお知らせし、データ書き込みと変更が可能。

【概要】

現在、在庫管理システムは、バーコードやパッシブ型タグなど様々な方式を用いたシステムが導入されていますが、最終的な「もの」の確認作業は人が記憶と経験を頼りにどこにあるか探し出しているのが現状です。従来のハンディタイプトランシーバでは通信可能範囲が半径約10メートルであり、PCのデータベースをリアルタイムに更新できませんでしたが、今回開発したPDAタイプのトランシーバは、特定小電力無線を採用して、通信可能範囲を半径約80メートルに拡大し、今まで課題であった遠い場所からのタグの検知を可能にすると同時に、移動作業中のデータベース更新が可能となりました。また、PDA専用OS(Windows CE)により、SI(システムインテグレーター)のソフト開発環境も容易なものとなりました。

これにより、固定利用のトランシーバの設置やハンディタイプトランシーバ使用時における管理PCへの最新データの取り込みなどの煩わしい作業の必要がなくなり、物の探し出し及びピッキング作業がPDAタイプトランシーバとタグさえあれば何時でも何処でも行うことができるようになりました。

この PDA タイプのトランシーバを使用することにより、従来の「アクティブ型無線 IC タグシステム MEGRAS 双方向通信」による、タグのブザー音や LED 点灯によって人が目と耳で部材の位置を確認する在庫管理システムはさらに利便性が向上し、最終的な「もの」の確認作業や探し出し、工場の組立ラインや物流センターの部材仕分け段階におけるピッキング作業に利用するソリューションに最適なシステムとなっております。

タグは、小型化、金属対応、低消費電力（電池寿命 3 年以上）対応、押しボタン装備になっており 3 色の LED 点灯とブザー音によりその存在をお知らせします。

尚、SIのソフト開発環境(Windows XP , Windows vista)を更に幅広く行えるようにするため、USB接続タイプもご用意しております。



IC タグ



PDAタイプ
トランシーバ

【お客様からのお問合せ窓口】

東京特殊電線株式会社
営業本部 RFID営業グループ
太田 良幸
〒169-8543東京都新宿区大久保 1-3-21
Tel: 03-5273-2095 Fax: 03-5273-2094
E-mail: rfids@totoku.co.jp

【本プレスリリース、及び報道関係窓口】

東京特殊電線株式会社
総務グループ
小林 数宏
〒169-8543東京都新宿区大久保 1-3-21
Tel: 03-5273-2121 Fax: 03-5273-2093
E-mail: webmaster@totoku.co.jp

Windows CE , Windows XP , Windows vistaは、米国Microsoft Corporationの米国等における登録商標です。